

2021 年神戸市長選挙

予定候補者 服部 修 様

社保協神戸市協議会 議長 中川和彦

〒650-0047

神戸市中央区港島南町 5 丁目 3 番 7 兵庫民医連内

電話 (078) 303-7351 FAX (078) 303-7353

Eメール: syahokyou@hyogo-min.com

担当 堤、北村

神戸市長選挙予定候補の皆様へ「公開質問状」へのご協力のお願い

神戸市を住みよくする日々のご奮闘、心から敬意を表します。

私ども社会保障推進協議会神戸市協議会（以下・社保協神戸市協）は医療、介護、年金、障害、教育、子育て、生活保護、雇用、等くらしに直結する社会保障制度の充実をめざし、神戸市内 9 区の地域社保協があり、団体と個人で構成する協議会です。神戸市長選挙にあたり候補者の方に、市民のいのちや生活に直結する社会保障施策について「公開質問状」を別紙のとおり送らせていただきました。ご回答、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

1~7 の項目は、「はい」か「いいえ」でお答えください。8 の「社会保障について」は、文章回答でお願いします。質問項目の趣旨、社保協の要求は以下の通りです。

1. 感染伝播の鎖を絶つために、PCR 検査の大規模実施と事業者への補償 に賛成しますか

本会は第 5 波の感染爆発のもと大規模な PCR 検査により、無自覚の感染者を早期に発見、隔離・保護することが、緊急の課題と考えます。PCR 検査を実施することにより、感染者を速やかに発見・保護・治療し、無症状の人を捕捉することで感染を大きく広げないことを求めます。

また、自粛要請とセットで雇用と事業を維持できる補償を行うこと。飲食業に十分な補償を行うとともに、納入業者、生産者をはじめ関連事業者や集客制限を要請するライブ・イベント業界なども補償の対象にすることを求めます。

2. 病床・療養施設の確保 に賛成しますか

兵庫県は新型コロナ感染による「緊急事態宣言」が発令され、前回の緊急事態宣言下では「80 歳以上のコロナ患者は急変しても人工呼吸、挿管も搬送もしない、と暗黙の了解がされている」との報道がされました。神戸市内でもコロナ陽性患者の入院先は無く、介護事業所や宿泊施設、自宅待機で対応するなど、入院が必要な患者が入院できない状況が激増しています。

本会は、在宅で死亡を招くようなことがないよう、症状に応じて必要な医療をすべての患者に提供するために、病床・療養施設・医療強化型宿泊施設を抜本的に確保することを求めています。

3. ワクチンのすみやかな確保 に賛成しますか

神戸市のワクチン接種をめぐる状況は、ワクチンの保管・配送、同じ人への 2 回接種、コールセンターの混乱など民間企業への委託により失敗が相次ぎました。

本会は、神戸市が国へワクチン確保を求め、すみやかに市民へのワクチンの提供ができることを要求します。

4. 各区保健所の復活、急性期病床の削減中止 に賛成しますか

1997 年には県内 41 カ所あった保健所が、2021 年は 17 カ所と半数以下まで減少しました。神戸市も各区にあった保健所が 1 カ所に統合されました。ウイルスによるパンデミックで公衆衛生の管理が求められる今、以前の保健所体制が必要です。保健所が足りていないことが、新型コロナ感染拡大を抑えられず医療崩壊を引き起こした原因の一つです。

兵庫県の地域医療構想では 2025 年までに急性期病床を 13,500 床減らす計画です。神戸市内では神戸労災病院 44 床削減、三菱神戸病院 24 床削減、六甲病院の民営化移行、済生会兵庫県病院、三田市民病院の統合再編の協議開始され、方向性が来年の 3 月にも示されます。

本会は、急性期病床削減計画を含む地域医療構想が新型コロナ感染症対応をさらに困難にさせたと考えており、直ちに急性期病床削減を止め、感染症病床の増床、そのための診療報酬の見直し、各区への保健所の復活を求めています。

5. 後期高齢者医療、国民健康保険、介護保険の保険料と自己負担の軽減 に賛成しますか

6月の国会で75歳以上の医療費窓口負担が倍額となる法案が可決され、来年度後半に実施されることになりました。国民健康保険の保険料は協会けんぽの約倍額で、県広域化により増額する可能性があります。介護保険料は4月の8期計画で2021～22年の基準額6,400円に値上げされましたが、連続値上で負担は限界です。消費税増税と年金額削減、コロナの影響などの状況から、市民へのこれらの社会保険負担の軽減策は暮らしを守る行政として必要な施策と言えます。

本会は、75歳以上の医療費窓口負担倍額実施を中止し、社会保険料と自己負担の軽減を国・県に求めるとともに、一般会計からの補填を要求します。

6. 子ども医療費の無料化が充実できる神戸市予算拡大 に賛成しますか

県下の中学校3年生までの医療費を無料としている市町は88%となりました。さらに高校3年生までの助成を12の市町で広げています。しかし神戸市は兵庫県の乳幼児と子ども医療費助成予算額は約20年間で3億円減らしており、所得制限を設け通院の自己負担を残しています。

本会は、子ども医療費無料化の充実を進められるよう、神戸市予算の拡大を要求します。

7. 駅前大型開発等の予算を生活直結、災害対策に変えること に賛成しますか

神戸市と兵庫県は三宮の巨大開発や県庁周辺の大規模再開発に予算をつぎ込んでいます。これまでも高速道路建設は全国2位の総延長距離まですすめ、大型公共工事、大企業奉仕を続けてきました。人口減少傾向と判断しながら、また新型コロナ対策が求められるようになった今なお、これらの公共工事をするのは、正確な経済状況を見極めた判断とは言えません。

本会は、大型公共事業を見直し、生活に直結するまちづくりや災害対策の強化を要求します。

8. 社会保障についてご自身の考えをお書きください

菅総理大臣は、所信表明で「めざす社会像は、『自助・共助・公助』そして『絆』である」とし、社会保障の国の責任を個人にすり替えようとしています。社会保障制度の利用対象者抑制や、自己負担増の改悪を「持続可能な制度のため」と説明しているのは、この考えが元となっています。

国民相互の助け合いは社会保障ではありません。憲法は第25条2項で「国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなくてはならない」と示しており、社会保障は国が責任を持つ分野です。

本会は、自治体・行政に、国の社会保障改悪の防波堤となることを要求します。

以上よろしくお願ひいたします。

末筆ながら貴殿の神戸市長選挙のご健闘をお祈りいたします。

※メールでの連絡先をご指定いただけましたので、記入票のデータをお送りいたします。

下記回答送り先のメールに、回答の返信をお願いいたします。

お忙しい中、恐縮ですが、9月15日までの回答をお願いいたします。

【公開質問 問い合わせ・回答送り先】

兵庫県社会保障推進協議会

〒650-0047 神戸市中央区港島南町5丁目3番7 兵庫民医連内

電話 078 (303) 7351 FAX 078 (303) 7353

Eメール：syahokyou@hyogo-min.com 担当 堤、北村